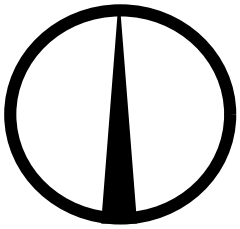
概　　要

古くからアイヌ民族や本州などからの移住者によって歴史を紡いできた本市は、昭和45年8月に道内30番目の市として市制を施行し、名湯登別温泉、カルルス温泉を有する年間300万人を超える観光客が訪れる国際観光レクリエーション都市として、また工業都市室蘭市のベッドタウンとして、道内35市の中堅都市に位置し、発展を続けてきた。

地　　勢



市　　章
S.36.10.1制定

本市は北海道の南西部に位置し、東南は洋々たる太平洋に面し、東は登別漁港・クッタラ湖付近などで白老町と接し、北はオロフレ峠・来馬岳・幌別岳を結んで壮瞥町に接している。さらに、西は鷲別岬から鷲別岳・アソイワ岳にかけて室蘭市・伊達市に隣接している。

地勢は大別して、内陸地帯と海岸地帯に分けられ、平坦地は海岸線に沿った部分のみで、他は丘陵起伏をなした山岳地帯となっている。

位置		広ぼう		面積
東経	北緯	東西	南北	
東 141° 11′ 22″ 西 140° 58′ 15″	南 42° 20′ 59″ 北 42° 33′ 13″	Km 18.5	Km 22.6	Km² 212.21